

全身立位型  
ホールボディ・  
カウンタ全身臥位型  
ホールボディ・  
カウンタ全身いす型  
ホールボディ・  
カウンタ

甲状腺モニタ



検出器

体内の放射能を直接測定するためには、全身から出てくる $\gamma$ （ガンマ）線を測定するホールボディ・カウンタという機器を使います。ホールボディ・カウンタには、立って測る、寝て測る、座って測るタイプがあります。

放射性セシウムは、体の至る所に分布しますので、体内量の計測にはホールボディ・カウンタが使われます。一方、放射性ヨウ素による内部被ばくが疑われる場合には、甲状腺モニタが用いられます。これは、ヨウ素は甲状腺に蓄積するため（上巻P127「甲状腺について」）、首の甲状腺のある部分に放射線検出器を当てて、そこから出てくる $\gamma$ 線を測るものです。

測定にかかる時間は、簡易型全身カウンタで1～5分、精密型全身カウンタで10～30分、また甲状腺モニタで2～5分程度です。

（関連ページ：下巻 P157「ホールボディ・カウンタによる内部被ばく検査」）

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2018年2月28日